

クアドリガ・スーパーファンド・ジャパン

世界品質の

マネージド・フューチャーズ・ファンドで

分散投資のススメ

有効な分散投資手法とされるマネージド・フューチャーズ。このたび欧州から日本に本格参入した、スーパーファンド証券のマーカス・ビュッヘル代表に、ファンドの特徴と活用法について聞いた。

マネージドフューチャーズの特徴はどのような点にありますか。

金融先物や商品先物に幅広く投資することで、値上がり・値下がりの両局面でリターンを得ることができる。これが、株式投資信託などと違うところでしょうか。

また、これら先物市場に投資するマネージド・フューチャーズ・ファンドは、株式・債券市場等とは異なる動きをします。よって、株式など古典的金融商品とマネージド・フューチャーズを組み合わせることで、非常に高い分散投資効果を得ることができる。この点は重要なポイントです。

マネージド・フューチャーズと株式などの金融商品との組み合わせによる投資手法では、一方が下落して

も他方でそれを補うことができ、結果としてリターンをあげる可能性を高められます。長期的な運用では複利効果によってさらに高い収益を上げることが期待されます。

なお、この組み合わせによる投資手法では、リスクはほぼそのまま、あるいは低減してリターンを大きくする効果があることが、アカデミックな研究からも証明されています。

クアドリガ・スーパーファンド・ジャパンの特徴や考え方は、リスクを可能な限り低減していることです。商品先物取引は、ハイリスク・ハイリターンであるとの認識が一般的だと思いますが、世界中の先物市場と数多くの金融先物・商品先物契約に分散して投資することで、リスクを最小限に抑えています。



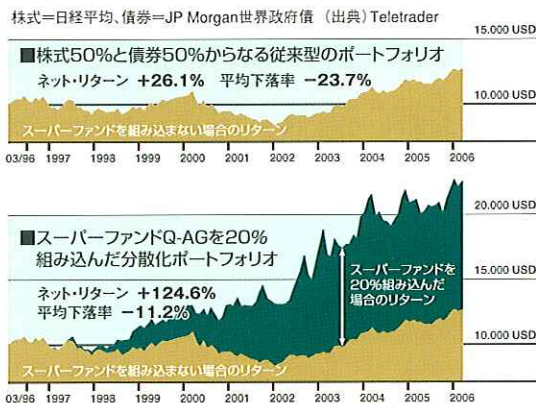
スーパーファンド証券  
マーカス・ビュッヘル代表

次に、独自に開発したシステム運用による、徹底したトレンドフォロー

戦略をとっていることです。値動きの大きな流れに追随することで、絶対リターンを得ることを狙っています。もっともこの手法は、短期的な乱高下には対応できないという面もあるのですが、各ポジションの損失額の上限を設定して、それに達した場合に強制的にポジションを閉じることで、損失を一定水準に抑えるようにしています。

リスク低減が最大の方針ということでしょうか。

やはりそれが第一でしょう。資産の運用では、まずは損失を抑えることが長期的なリターンを得るための最も重要なことだと考えます。この方針のおかげで、スーパーファンド



発足以来の最も運用期間の長いファンドである「スーパーファンドQ・AG」(申込み期間終了)は、約十年間の運用で+500%近い運用実績を上げることができました。

最後に一言。

一般的ですが、資産運用を考える場合、短期的なパフォーマンスだけに目を奪われずに、長期的な視野に立った計画を持つべきだと思います。今後、日本は確実にインフレ局面に入ってくると思われれますので、長期的なインフレヘッジの重要性はより高まるでしょう。そして、我々の提供するファンドは有効な手段であり、良い結果を実現できると考えています。